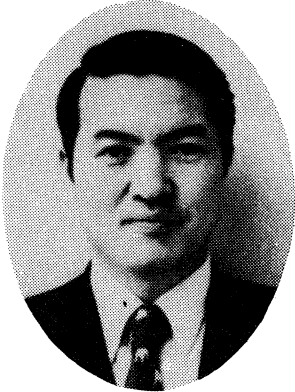


# 序



今日の日本では、情報化、国際化、高齢化が進み、教育に対しては、この変化に応じた質と量の両面における一層の充実が求められています。

一方、人々の間には、社会の変化に主体的に対応し、心豊かに生きるためには、生涯にわたって学び続ける必要があるという認識が定着しつつあります。

このように、21世紀を目指して大きく変わろうとする現代の社会は、教育にも新たな変革を求めており、教育関係者には重大な任務が課せられていると言えます。

教育に携わる者がこの大切な仕事を成し遂げ、十分な成果を収めるためには、進取の精神と職務遂行の熱意をもって事に当たる必要があります。それと共に、常に結果を見詰め直し、その成否を厳しくチェックすることを忘れてはなりません。来し方を振り返り、足元を確かめ、行く手に高く眼を上げて、自信をもって歩む。新たな時代に対応した「心豊かな たくましい人間」の育成 という福島県の教育が目指すところも、このような姿勢によってはじめて達成されるものと考えます。

昭和63年度実績「教育年報」の発行に際し、本県教育の足跡と現状を記したこの冊子が、今後の豊かな実りを得る手掛りとして、多くの方々に活用されることを願って止みません。

平成元年10月

福島県教育委員会

教育長 大内 忠 昭